

社会科

1 学習の目的

社会科の目標には大きく2つあります。第一に、社会の形成者の一員として備えるべき教養（知識）を身につけることです。その内容は、「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の3つから成り立っています。これらはただ暗記するのではなく、様々な資料の中から適切に収集、選択、処理、活用して考えたり判断することで身につくことが望ましいのです。第二に、どのようにしたら社会（世の中）の問題を解決できるかという「課題解決の方法」を身につけることです。世の中には様々な意見があります。多面的な見方や考え方をしてみることで、偏りがなく広い視野に立った調査方法を身につけることが望ましいのです。

こうした目標を達成するために東中学校社会科教室では、まず楽しい授業を心がけ「社会科が好きで、進んで学習に取り組む」生徒を増やすことを目指します。

2 学習内容

裏面参照 ※計画や内容の変更の可能性があります。

3 評価の方法

評価の観点		着目している点
項目	達成目標	
知識・ 技能	社会的な事象に関する基本事項を理解し、その知識を身につけている 各種の資料から有用なものを適切に選択し、効果的に活用するとともに、調査結果などをまとめることができる	評価テスト中の資料問題の解答状況、授業中の発言内容、提出物の内容、ノートのまとめ方など 評価テストの総合点数、小テストの結果など
思考・ 判断・ 表現	社会的な事象を様々な角度から考え、正しく判断してその結果を表現することができる	評価テスト中の記述問題の解答状況、授業中の発言内容、人権等の作文やレポートの記述内容 など
主体的に取り組む態度	社会的な事象に関心を持ち、意欲的に追究することができる	忘れ物の有無、授業中の姿勢、発表力、作業の様子、提出物の状況、自己評価表 等

・各種テストは、得点そのまま出来映えとして評価できますが、それ以外の項目は次のような基準で判定し、最終的には点数（数値）化して評価しています。

- ・「授業中の姿勢・発表力」＝私語なく話を聞いている・ノートを取れている・挙手して発言している。
- ・「作業の様子」＝指示をしっかりと聞いてすぐに始めようとしている・私語なく集中して行っている・ていねいに行っている。
- ・「提出物の状況・内容」＝締め切り期日に間に合うように出せる・指示通りに完成できる・ていねいに仕上げられる・内容を工夫している。
- ・「授業中の発言内容」＝資料に基づいて発言している・様々な面から考えている・自分の言葉で表現できている・説得力のある内容である。
- ・「作文・レポートの記述内容」＝指示通りの内容が書かれている・わかりやすく表現している・自分なりの工夫をしている・発展性（深まり）のある内容になっている。

4 授業の約束

- 教科書、学習課題プリント、資料集を中心に授業を進めていきます。
- 教材の忘れ物をしないこと。
- 意欲的に授業に参加しましょう。
(挙手・発表・聞く態度・課題への取り組み・作業・ノートの取り方など)

5 自主学習のすすめ

- 毎日、復習をして基礎的・基本的内容を身に付けましょう。
- 長期休みの課題は、計画的に取り組ましましょう。

3 学年学習内容

一 学 期	○第一次世界大戦と日本 【歴史分野】
	1 第一次世界大戦
	2 ロシア革命
	3 国際協調の高まり
	4 アジアの民族運動
	○大正デモクラシーの時代
	1 大正デモクラシーと政党内閣の成立
	2 広がる社会運動と普通選挙の実現
	3 新しい文化と生活
	○世界恐慌と日本の中国侵略
1 世界恐慌とブロック経済	
2 欧米の情勢とファシズム	
3 昭和恐慌と政党内閣の危機	
4 満州事変と軍部の台頭	
5 日中戦争と戦時体制	
○第二次世界大戦と日本	
1 第二次世界大戦の始まり	
2 太平洋戦争の開始	
3 戦時下の人々 4 戦争の終結	
○戦後日本の出発	
1 占領下の日本	
2 民主化と日本国憲法	
○冷戦と日本の発展	
1 冷戦の開始と植民地の解放	
2 独立の回復と 55 年体制	
3 緊張緩和と日本外交	
4 日本の高度経済成長	
5 マスメディアと現代の文化	
○新たな時代の日本と世界	
1 冷戦後の国際社会	
2 冷戦後の日本	
3 持続可能な社会に向けて	
○現代社会の特色と私たち 【公民分野】	
1 持続可能な社会に向けて	
2 グローバル化	
3 少子高齢化 4 情報化	
○私たちの生活と文化	
1 私たちの生活と文化の役割	
2 伝統文化と新たな文化の創造	
3 多文化共生を目指して	
○現代社会の見方や考え方	
1 社会集団の中で生きる私たち	
2 決まりをつくる目的と方法	
3 効率と公正	
4 決まりの評価と見直し	
○人権と日本国憲法	
1 人権の歴史と憲法	
2 日本国憲法とは	
3 国民主権と私たちの責任	
4 平和主義の意義と日本の役割	
5 基本的人権と個人の尊重	
○人権と共生社会	
1・2 平等権①②	
3 自由権	
4 社会権	
5 人権を確実に保障するための権利	
6 「公共の福祉」と国民の義務	
○これからの人権保障	
1・2 新しい人権①②	

二
学
期

二 学 期	3 グローバル社会と人権
	○現代の民主政治
	1 政治と民主主義
	2 選挙の意義と仕組み
	3 政党の役割
	4 マスメディアと世論
	5 選挙の課題と私たちの政治参加
	○国の政治の仕組み
	1 国会の地位と仕組み
	2 法律や予算ができるまで
3 行政を監視する国会	
4 行政の仕組みと内閣	
5 行政の役割と行政改革	
6 裁判所の仕組みと働き	
7 裁判の種類と人権	
8 裁判員制度と司法制度改革	
9 三権の抑制と均衡	
○地方自治と私たち	
1 私たちの生活と地方自治	
2 地方自治の仕組み	
3 地方公共団体の課題	
4 住民参加の拡大と私たち	
○消費生活と市場経済	
1 私たちの消費生活	
2 契約と消費生活	
3 消費者の権利を守るために	
4 消費生活を支える流通	
○生産と労働	
1 生産活動と企業	
2 企業の種類	
3 株式会社の仕組み	
4 労働の意義と労働者の権利	
5 労働環境の変化と課題	
○市場経済の仕組みと金融	
1 市場経済と価格の決め方	
2 価格の働き	
3 貨幣の役割と金融	
4 私たちの生活と金融機関	
5 景気と金融政策	
6 グローバル経済と金融	
○財政と国民の福祉	
1 私たちの生活と財政	
2 政府の役割と課題	
3 社会保障の仕組み	
4 少子高齢化と財政	
○これからの経済と社会	
1 公害の防止と環境の保全	
2 経済の持続可能性と真の豊かさ	
○国際社会の仕組み	
1 国際社会における国家	
2 領土をめぐる問題の現状問題の解決	
3 国際連合の仕組みと役割	
4 地域主義の動き	
5 新興国の台頭と経済格差	
○さまざまな国際問題	
1 地球環境問題	
2 資源・エネルギー問題	
3 貧困問題	
4 新しい戦争 5 難民問題	

三
学
期